

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
精神障害作業療法治療学演習			必修	2	3	集中
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
柿崎 崇		講師控室	講師控室		授業終了後	
授業の目的・概要		精神科作業療法における状態別精神機能作業療法について演習を通じて学ぶことを目的とする。実際の臨床現場で起こる現象を読み解き、精神疾患別に作業療法がどのように展開されるかを学ぶ。さらに、具体的場面を通して、認知機能障害、身体合併症、退院支援、就労支援、復職支援、地域生活支援、司法精神医療における作業療法という 5 つの場面を通して臨床思考を養っていく。本科目は 2～4 コマ連続の計 30 回の授業で実施する。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☒ PBL ☐ 反転授業 ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ その他（	☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク	
学習上の助言		本科目は精神医学で学んだ精神疾患の知識や精神障害作業療法治療学で学んだ知識を臨床時に生かせるように、推論を加えた実践的な理解を促進していく。				
教科書		標準作業療法学 精神機能作業療法学 第 3 版 / 編：新宮尚人 / 医学書院 / 2020				
参考書		「精神科リハビリテーション評価法ハンドブック」早坂友成，岩根達郎，森元隆文（編）中外医学社，2023 年 4 月				
外部教材		特になし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	各種疾患、障害に対しその機序を理解し説明できる。				HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
②	各種疾患、障害に対しての作業療法を説明できる。				HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
③	場面別に応じた作業療法の展開を説明できる。				HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
④	対象者に応じた目標を達成するための作業療法を計画できる。				HSU(2) (3)、OT(1) (2)	
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等			授業の方法	学習課題・学習時間（時間）	
1.2	オリエンテーション：自己開示と自己理解			講義・演習		2
3.4	評価についての復習及び状態別精神機能作業療法：認知機能障害における作業療法について学ぶ			講義・演習	事前に教科書 p186-202 の予習をする。	2
5.6	認知機能リハビリテーションの体験 VCAT-J の体験			講義・演習	事前に教科書 p186-202 の予習をする。	2
7.8	状態別精神機能作業療法：身体合併症における作業療法について学ぶ①			講義・演習	事前に教科書 p203-217 の予習をする。	2
9.10	状態別精神機能作業療法：身体合併症における作業療法について学ぶ②			講義・演習	事前に教科書 p203-217 の予習をする。	2
11.12	場面別精神機能作業療法：退院支援における作業療法について学ぶ①			講義・演習	事前に教科書 p220-230 の予習をする。	2
13.14	場面別精神機能作業療法：退院支援における作業療法について学ぶ②			講義・演習	事前に教科書 p220-230 の予習をする。	2
15.16	場面別精神機能作業療法：就労支援における作業療法について学ぶ①			講義・演習	事前に教科書 p231-248 の予習をする。	2
17.18	場面別精神機能作業療法：就労支援における作業療法について学ぶ②			講義・演習	事前に教科書 p231-248 の予習をする。	2
19.20	場面別精神機能作業療法：復職支援における作業療法について学ぶ①			講義・演習	事前に教科書 p249-264 の予習をする。	2
21.22	場面別精神機能作業療法：復職支援における作業療法について学ぶ②			講義・演習	事前に教科書 p249-264 の予習をする。	2
23.24	場面別精神機能作業療法：地域生活支援における作業療法について学ぶ①			講義・演習	事前に教科書 p265-278 の予習をする。	2
25.26	場面別精神機能作業療法：地域生活支援における作業療法について学ぶ②			講義・演習	事前に教科書 p265-278 の予習をする。	2
27.28	地域で実践している作業療法の実際について学ぶ			講義・演習	事前に教科書 p6-16 の予習をする。	2

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

29.30	場面別精神機能作業療法：司法精神医療における作業療法について学ぶ			講義・演習	事前に教科書 p279-290 の予習をする。		2	
試	定期試験							
達成度評価								
総合評価割合（％）			試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力		70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力		20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ		0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力		0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力		0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力		10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	精神機能障害に関連する知識について、筆記試験を実施する。 試験は講義で使用した教科書・配布プリント、講義において説明した内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。 問題（解答）形式は記述・穴埋め、選択式で行う（100 点満点）。				試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書、配布プリントを参照し要点を再確認する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	なし							
教員の実務経験	本科目を担当する教員は作業療法士として 5 年以上の実務経験を有している。							
実践的授業の内容	テキストと併せて疾患や患者像について視覚教材を用いることで学生の理解に繋げる。 また臨床における治療で得た知見に基づき講義を展開する。							
そ の 他	対面で行う授業中となるが、資料提示や質問・コメントの受付に一部オンライン（Teams）を利用する場合がある。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって、シラバスが変更される可能性がある。							